



横浜市議員

竹内やすひろ

市政報告

ヒットエンドラン通信



東京 本所都民防災教育センターを視察

《防災意識をより高めるために》

横浜市の市民防災センターでは、市民の皆様へ「自分の命を守る自助意識」、「お互いに助け合う共助意識」の啓発と、その行動を起こすことができる人を育成する場を提供。自助・共助促進の中核施設として、運営がされています。平成27年にリニューアルも行われ、充実した施設に数多くの方々が訪れています。

今回は、東京の墨田区にある「本所都民防災教育センター」へ、暴風雨や都市型水害体験ができるとの事で、訪問し災害体験をしてきました。



経験に勝る防災はない!もしもの時のための体験

暴風雨体験コーナー

《雨と風と知識の体験》

風水害をもたらすほどの強風大雨を体験し、そのすさまじさを知るとともに、強風や大雨に関する知識を高めるコーナーです。風速30メートル、時間雨量50mmの体験をしました。雨具を着ていてもびしょぬれになるほどの暴風雨体験。大人でも、踏ん張って下を向いたまま動けない状態です。



近年、局地的大雨（いわゆるゲリラ豪雨）などの異常な気象現象が頻発しています。

風水害等による被害は、発生に至る要因として、気象、地象、水象状況とこれらに関連した危険要素の複合等様々な態様が考えられるほか、発生メカニズムにおいても不明な点が多いため、細部にわたる被害の予測を具体的な数量として算出することは極めて困難です。改めて、いざと言う時の備えや、危険な外出は絶対避ける等、考えさせられます。

横浜市議員

竹内やすひろ (たけうちやすひろ)

神奈川県政務調査事務所

横浜市神奈川区大口通り127-16コスガビル1F

TEL : 045-716-6822 FAX : 045-716-6823

ホームページ <http://takeuchi.180r.com>

E-mail mail@takeuchi.180r.com



市民・文化観光・消防委員会

大都市行財政制度特別委員会

公明党神奈川県本部 幹事長代理

公明党神奈川支部 支部長

防災士

公式ホームページ

<http://takeuchi.180r.com>



竹内やすひろ
facebook

都市型水害体験コーナー

水圧がかかるドアの開放体験



局地的集中豪雨や津波に関する映像、地下のドアや自動車が浸水して水圧がかかっているドアの開放体験をしました。

横浜市には、地下街や地下駐車場も多くあります。また、道路のアンダーパスと言われる冠水しやすい注意箇所も多く存在します。

本所防災館では、車の外にどのくらい水が溜まったら、どのくらいドアが開けづらいのかを体験。この日の体験では、女性の多くは30cm水が溜まっていると、ほぼドアは開けられない。20cmでもギリギリという感じでした。

自動車緊急脱出用ハンマー



冠水時や事故などで車内に閉じ込められた時に、ドアガラスの破壊やシートベルトの切断が出来ます。軽い力で自動車のサイドガラスがしっかり割れる道具です。一刻を争う場合でも確実に車外に脱出できるよう、緊急脱出用ハンマーは、車に備えておくべき必須装備です。

自動車の冠水時の水圧体験



横浜市防災情報ホームページ

横浜市防災情報ホームページは、携帯電話やスマートフォンに防災情報を E メール配信するサービスを行っています。

また、防災情報 Eメールの携帯サイトでは、地震・津波情報はもちろん、河川の水位・監視カメラ画像、土砂災害警戒情報など様々な情報を入手することが可能です。

横浜市域の雨量・潮位・河川水位（水防災情報）の状況等をリアルタイムで提供。

行政区別の詳細なデータを閲覧することも可能です。

「横浜市防災情報」で検索。

横浜市防災情報
ホームページ
QRコード



横浜駅周辺には「土のうステーション」



従来から、大雨による水害対策用として横浜駅西口周辺に7か所の「臨時土のう置場」を設置して対応していましたが、このうちスペースが確保できる4か所を「土のうステーション」として整備。

1か所あたり約100袋入っています。いざという時にご利用できます。

【場所】南幸橋脇、横浜ビブレとダイエーとの間、西公会堂駐車場入口付近、平沼高校グラウンド角。